

6 カネヒラ

(コイ科)

兵庫県ランク:B

Acheilognathus rhombeus

環境省ランク:-

種の概要

全長は10cm程度になり、日本産のタナゴ類の中では最も大きくなる。遊泳力にも富む。流れが緩やかな河川中・下流域、それに続く用水路に生息する。付着藻類やカナダモなどを食べる水草に偏った雑食性。産卵期は秋で、イシガイなどの二枚貝の鰓に卵を産み付ける。2年で成熟する。国内では濃尾平野以西の本州、四国の一部、九州北部にかけて分布する。



写真提供: 兵庫県立人と自然の博物館(撮影: 増田 修)

県内における生息状況及びその他特記事項

県内では日本海側の円山川、由良川水系、瀬戸内海側の武庫川、加古川、市川、揖保川、千種川水系など比較的大きな河川の下流域に生息する。大きな水域を好むため、分布する河川は限られるが、生息地点での個体数は比較的多い。

保護上の留意点

産卵基質がイシガイ科の二枚貝であり、この二枚貝のグロキディウム幼生は主にヨシノボリ類に一時寄生するという複雑な関係の中で本種はその生活史を成立させている。10数年前に河川改修が行われた武庫川中流域では、改修後カネヒラの個体数が回復、増加している。本種は産卵に伴う移動距離が長く、農業用水採取のためのゴム堰や根固工など、移動を阻害する横断工作物に遡上・降下できる仕掛けが必要である。

県内分布

神戸市、西宮市、三田市、加古川市、小野市、加西市、加東市、姫路市、赤穂市、たつの市、福崎町、上郡町、豊岡市、養父市、篠山市、丹波市

【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励

主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	○
	捕獲	○
	遺伝	
特殊性	特殊	○
	孤立	
学術性	極限	
	限界	
	希少	

